

### III. 資産運用状況

#### 1. 総資産の概要

平成 27 年度末の総資産は 367 兆 1,678 億円（前年度比 99.97%）となり、7 年ぶりに減少となった。

主な資産構成は、有価証券（300 兆 5,235 億円、前年度比 100.4%）が構成比 81.8%を占め、次いで貸付金（34 兆 9,869 億円、同 95.0%）が 9.5%を占めている。【図表 45、46】

図表 45 総資産の推移

（億円）

	現金及び 預貯金	コール ローン	金銭の 信託	有価証券	貸付金	有形固定 資産	その他	総資産
平成 23 年度	35,155	25,093	20,144	2,575,603	421,738	66,011	125,782	3,269,528
24	35,749	27,668	20,599	2,782,448	402,446	64,600	116,468	3,449,981
25	44,167	26,697	24,591	2,850,317	380,992	63,199	115,860	3,505,826
26	56,080	36,729	33,325	2,994,295	368,103	63,294	120,723	3,672,552
27	74,584	12,809	37,013	3,005,235	349,869	62,504	129,663	3,671,678

以下はかんぽ生命を除いた数値

23	22,905	19,115	17,716	1,829,732	282,448	65,153	95,569	2,332,641
24	28,507	25,634	18,031	2,056,866	275,530	63,740	77,046	2,545,357
25	27,532	24,396	18,775	2,156,527	270,786	62,306	74,614	2,634,939
26	34,020	32,275	18,976	2,331,523	268,329	61,977	76,330	2,823,432
27	56,023	9,209	20,567	2,369,126	260,084	61,049	80,180	2,856,242

図表 46 資産別構成比

（%）

	現金及び 預貯金	コール ローン	金銭の 信託	有価証券	貸付金	有形固定 資産	その他	総資産
平成 23 年度	1.1	0.8	0.6	78.8	12.9	2.0	3.8	100.0
24	1.0	0.8	0.6	80.7	11.7	1.9	3.4	100.0
25	1.3	0.8	0.7	81.3	10.9	1.8	3.3	100.0
26	1.5	1.0	0.9	81.5	10.0	1.7	3.3	100.0
27	2.0	0.3	1.0	81.8	9.5	1.7	3.5	100.0

以下はかんぽ生命を除いた数値

23	1.0	0.8	0.8	78.4	12.1	2.8	4.1	100.0
24	1.1	1.0	0.7	80.8	10.8	2.5	3.0	100.0
25	1.0	0.9	0.7	81.8	10.3	2.4	2.8	100.0
26	1.2	1.1	0.7	82.6	9.5	2.2	2.7	100.0
27	2.0	0.3	0.7	82.9	9.1	2.1	2.8	100.0

## 2. 有価証券

有価証券（300兆5,235億円）の内訳は、国債が148兆5,684億円（前年度比99.9%）で有価証券全体の49.4%を占めている。次いで残高が過去最高となった外国証券（78兆6,531億円、前年度比107.3%）、社債（25兆3,634億円、同102.0%）、株式（19兆8,130億円、同87.3%）、地方債（13兆5,178億円、同97.5%）の順となった。【図表47】

国内金利が低位で推移したことから、相対的に金利の高い外国証券等への資金配分が進んだ結果、公社債（国債・地方債・社債の合計）は187兆4,498億円（前年度比99.98%）と2年連続で減少した。株式については、残高が4年ぶりに減少した。なお、総資産比は公社債が51.1%、外国証券が21.4%、株式が5.4%となった。【図表48、49】

また、外国証券の内訳をみると、公社債等（国債、地方債、社債、その他の外国証券）が72兆1,314億円（前年度比107.4%）、株式が6兆5,217億円（同106.2%）となっている。【図表49】

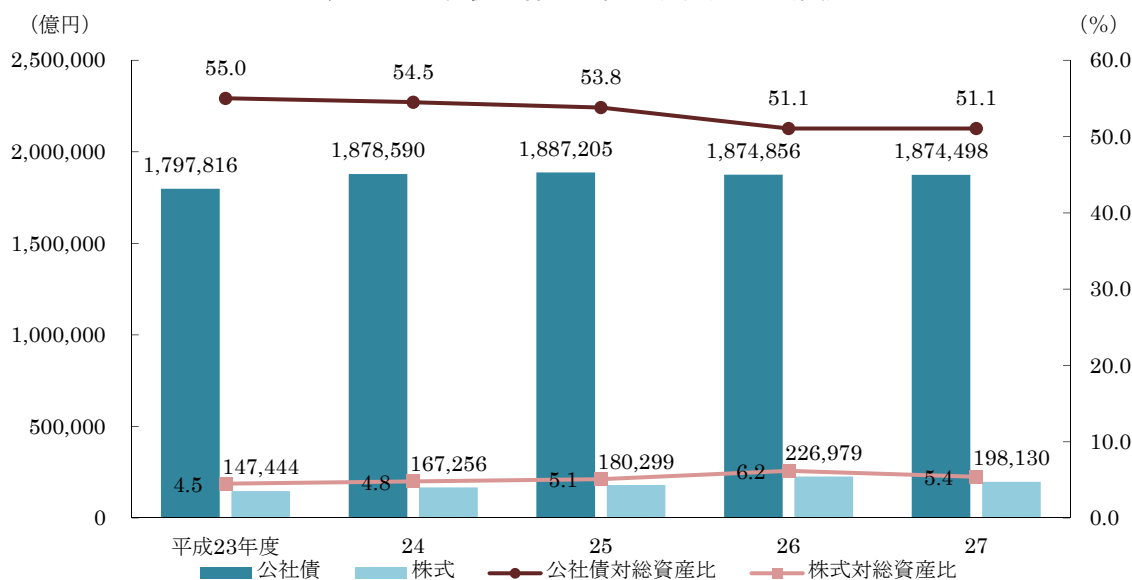
図表47 有価証券内訳の推移

	国債		地方債		社債		株式		外国証券		その他の証券		合計
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額
平成23年度	1,412,757	54.9	131,630	5.1	253,429	9.8	147,444	5.7	469,267	18.2	161,074	6.3	2,575,603
24	1,487,692	53.5	139,346	5.0	251,551	9.0	167,256	6.0	559,864	20.1	176,735	6.4	2,782,448
25	1,498,157	52.6	140,089	4.9	248,959	8.7	180,299	6.3	614,509	21.6	168,303	5.9	2,850,317
26	1,487,617	49.7	138,686	4.6	248,553	8.3	226,979	7.6	732,804	24.5	159,654	5.3	2,994,295
27	1,485,684	49.4	135,178	4.5	253,634	8.4	198,130	6.6	786,531	26.2	146,074	4.9	3,005,235

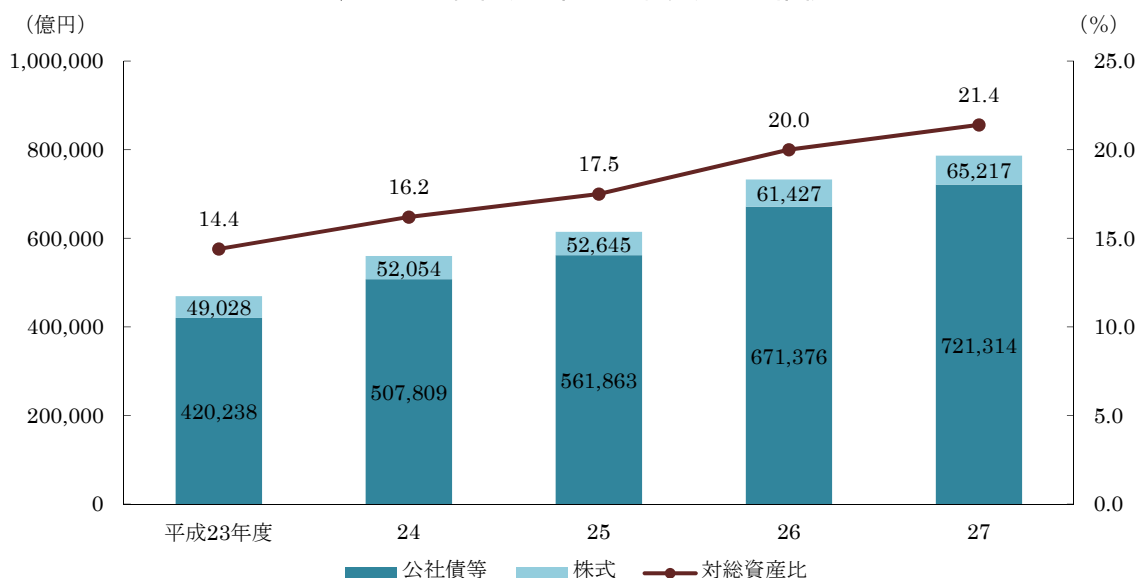
以下はかんぽ生命を除いた数値

23	813,135	44.4	53,851	2.9	191,154	10.4	147,434	8.1	463,081	25.3	161,074	8.8	1,829,732
24	922,966	44.9	52,361	2.5	186,713	9.1	167,246	8.1	550,842	26.8	176,735	8.6	2,056,866
25	972,928	45.1	48,351	2.2	184,540	8.6	180,289	8.4	602,114	27.9	168,303	7.8	2,156,527
26	1,006,752	43.2	43,127	1.8	182,028	7.8	226,969	9.7	712,990	30.6	159,654	6.8	2,331,523
27	1,043,898	44.1	41,123	1.7	191,265	8.1	198,120	8.4	749,643	31.6	145,073	6.1	2,369,126

図表48 公社債・株式残高と総資産比の推移



図表 49 外国証券残高と対総資産比の推移



### 3. 貸付金

貸付金の残高は 34 兆 9,869 億円（前年度比 95.0%）となり、総資産に対する割合は 9.5%（前年度より 0.5 ポイント低下）となった。

貸付金は昭和 40 年代には総資産の 7 割近くを占める主要資産であったが、長期的にみると残高は減少傾向にある。貸付金全体の 91.4% を占める一般貸付は、前年度より減少して 31 兆 9,852 億円（前年度比 94.8%）となり、保険約款貸付も 3 兆 16 億円（同 97.8%）と減少している。【図表 50】

一般貸付を対象別にみると、全体の 86.9% が企業向け貸付、5.9% が個人向け貸付となっている。【図表 51】

リスク管理債権額（破綻先債権、延滞債権、3 カ月以上延滞債権、貸出条件緩和債権の総称）は、1,173 億円（前年度比 105.7%）と前年度末に比べ増加した。内訳は延滞債権が 904 億円（同 112.9%）、貸付条件緩和債権 210 億円（同 86.2%）の順となっている。なお、リスク管理債権額の貸付金全体に対する比率は 0.3%（前年度 0.3%）となっている。【図表 52】

図表 50 貸付金内訳と貸付金総資産比の推移

	(億円、%)			
	一般貸付	保険約款貸付	貸付金合計	貸付金合計の総資産比
平成 23 年度	388,587	33,151	421,738	12.9
24	370,394	32,051	402,446	11.7
25	349,649	31,342	380,992	10.9
26	337,412	30,690	368,103	10.0
27	319,852	30,016	349,869	9.5
以下はかんぽ生命を除いた数値				
23	249,506	32,941	282,448	12.1
24	243,838	31,692	275,530	10.8
25	239,986	30,799	270,786	10.3
26	238,379	29,949	268,329	9.5
27	231,024	29,059	260,084	9.1

図表 51 企業向け・個人向け貸付の推移

(億円、%)

	企業向け貸付				個人向け貸付	
		大企業向け	中堅企業向け	中小企業向け	うち住宅ローン	うち消費者ローン
平成 23 年度	343,805 <96.5>	173,925 <99.2>	1,534 <75.1>	154,466 <94.5>	15,702 <89.9>	7,773 <85.3>
24	324,890 <94.5>	170,977 <98.3>	1,310 <85.4>	138,743 <89.8>	14,515 <92.4>	7,941 <102.2>
25	304,434 <93.7>	165,949 <97.1>	1,397 <106.6>	121,045 <87.2>	14,002 <96.5>	8,080 <101.7>
26	294,371 <96.7>	162,827 <98.1>	1,358 <97.3>	110,408 <91.2>	13,334 <95.2>	7,060 <87.4>
27	277,985 <94.4>	156,597 <96.2>	1,569 <115.5>	99,891 <90.5>	12,510 <93.8>	6,465 <91.6>

以下はかんぽ生命を除いた数値

23	208,817 <97.4>	172,231 <98.8>	1,534 <75.1>	21,172 <93.3>	15,702 <89.9>	7,773 <85.3>
24	202,866 <97.1>	168,811 <98.0>	1,310 <85.4>	18,885 <89.2>	14,515 <92.4>	7,941 <102.2>
25	199,813 <98.5>	163,517 <96.9>	1,397 <106.6>	18,856 <99.8>	14,002 <96.5>	8,080 <101.7>
26	200,670 <100.4>	160,276 <98.0>	1,358 <97.3>	19,259 <102.1>	13,334 <95.2>	7,060 <87.4>
27	195,052 <97.2>	154,393 <96.3>	1,569 <115.5>	19,162 <99.5>	12,510 <93.8>	6,465 <91.6>

\*1. 企業向け貸付には上記の明細以外に外国企業貸付が含まれる。

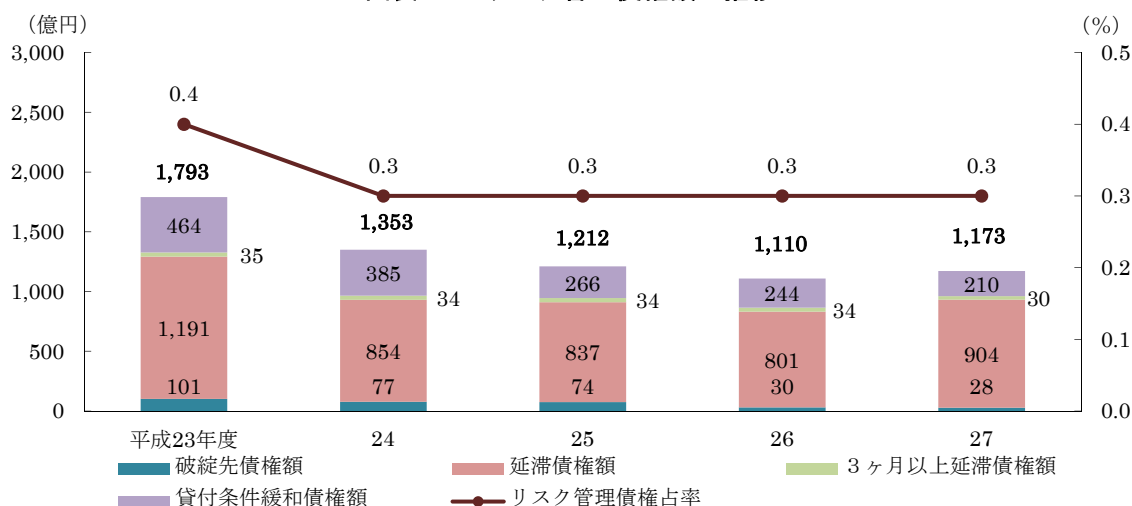
\*2. かんぽ生命の中小企業向け貸付には、郵便貯金・簡易生命保険管理機構への貸付金が含まれる。

\*3. <>内は前年度比を示す。

(業種の分類)

業種	①右の②～④を除く全業種		②小売業、飲食業		③サービス業		④卸売業	
大企業	従業員 300名超かつ	資本金 10 億円 以上	従業員 50名超かつ	資本金 10 億円 以上	従業員 100名超かつ	資本金 10 億円 以上	従業員 100名超かつ	資本金 10 億円 以上
中堅企業		資本金 3 億円超 10 億円未満		資本金 5 千万円 超 10 億円未満		資本金 5 千万円 超 10 億円未満		資本金 1 億円超 10 億円未満
中小企業	資本金 3 億円以下又は常用する従業員 300 人以下		資本金 5 千万円以下又は常用する従業員 50 人以下		資本金 5 千万円以下又は常用する従業員 100 人以下		資本金 1 億円以下又は常用する従業員 100 人以下	

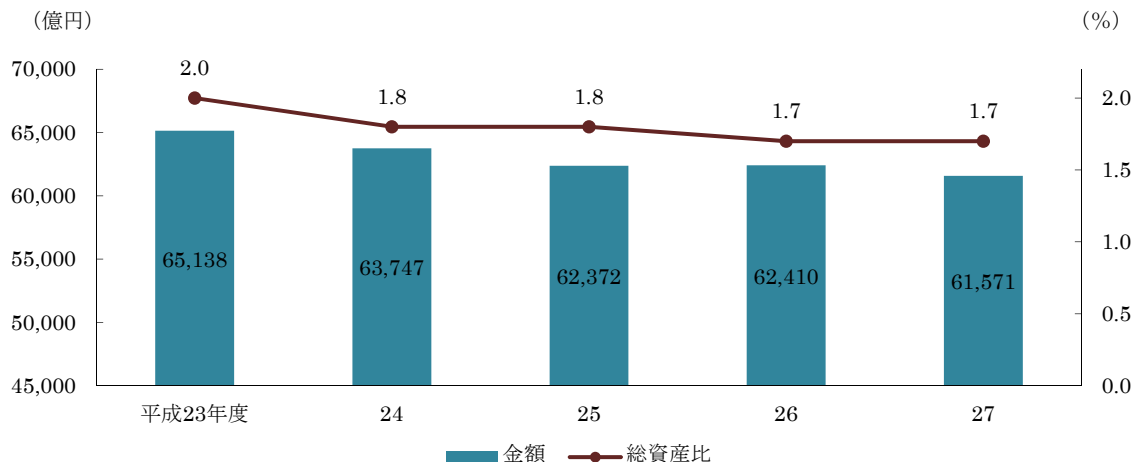
図表 52 リスク管理債権額の推移



#### 4. 有形固定資産（不動産）

有形固定資産（6兆2,504億円）のうち不動産（土地・建物・建設仮勘定の合計）は6兆1,571億円（前年度比98.7%）となった。【図表45、53】

図表53 不動産残高と総資産比の推移



## IV. 負債および純資産

### 1. 負債および純資産

負債は343兆7,689億円（前年度比100.8%）で、総資本（負債・純資産合計）の93.6%を占めている。負債の93.7%は保険契約準備金であり、保険契約準備金の中では責任準備金（将来の保険金等の支払に備えるための準備金）が98.0%を占めている。保険契約準備金のうち、それ以外は社員（契約者）配当準備金（保険契約に対する配当を行うために計上するもの）が1.3%、支払備金（未請求であるが支払義務が生じたと認められる保険金等支払金を計上するもの）が0.7%となっている。【図表54上段】

純資産は23兆3,989億円（前年度比89.6%）で、総資本の6.4%を占めている。評価・換算差額等合計の減少に伴い、純資産が減少する結果となった。【図表54下段】

図表54 負債・純資産の構成

		(億円、%)		
<負債の内訳>		金額	負債内構成比	構成比
保険契約準備金		3,220,172	93.7	87.7
支払備金		22,039	0.6	0.6
責任準備金		3,155,008	91.8	85.9
社員（契約者）配当準備金		43,124	1.3	1.2
価格変動準備金		35,638	1.0	1.0
その他		181,878	5.3	5.0
負債合計		3,437,689	100.0	93.6
<純資産の内訳>		金額	純資産内構成比	構成比
基金等合計又は株主資本合計		108,556	46.4	3.0
基金又は資本金		30,856	13.2	0.8
基金償却積立金		22,150	9.5	0.6
資本剰余金		17,092	7.3	0.5
剰余金又は利益剰余金		38,444	16.4	1.0
その他		12	0.0	0.0
評価・換算差額等合計		125,422	53.6	3.4
新株予約権		9	0.0	0.0
純資産合計		233,989	100.0	6.4
負債・純資産合計		3,671,678	—	100.0